

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価結果

	チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善目標、工夫している点など
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が多い際には狭さを感じる時がある。 ・はじめの会等、全員が室内いることもある。余暇活動時等は、天候により困難な場合もあるが、法人の利を生かし、芝生広場や体育館、駐車場に分かれて活動する等工夫をしている。 ・机の配置を工夫している。
2	職員の配置数は適切であるか	6			
3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレに手すりは設置された。
4	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	6			
5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1		
6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページで公開している旨を保護者の方に広く周知していく。
7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6			
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・年に何回か法人で職員研修を行い、講習会やグループワークを行っている。

9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・年により変わっていくため、適切に実施をしていく。
10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2		・法人のアセスメントツールを使用している。
11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1		・イベント等は会議を通して練ることもある。
12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・諸活動は週間、月間で固定されているが、天候等により臨機応変に行っている。
13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	3		・排泄、更衣等、ADLに着目はしているが、個への対応にまでは至っていない。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・諸活動は集団、余暇活動は個にむけている。
15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・打ち合わせは行っている。実支援の際に児童の状況に応じ、臨機応変に対応をするよう心掛けている。
16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	3	3		・送りの職員等もいる為、全員揃っての実施は難しい部分がある。 ・終了後の打ち合わせも行っていきたい。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・対応をしていない職員への気づきにも繋がっている。 ・担当職員に日誌を書いてもらっている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
19	ガイドラインの総則に基本活動を複数組み合わせて支援をおこなっているか	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・法人である利点を生かした活動提供をしている。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1		<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援管理責任者が基本的に出席するようにしているが、女兒であった場合は女性に対応した方がよい場合もある。
21	学校との情報共有（年間計画、行事予定、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・年2回行われている学校との連絡会にも積極的に参加をしている。（今年度はコロナの関係で実施されず） ・必要な情報は保護者からも得ている。 ・学校迎え時に排泄の時間等も確認している。
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・医ケア児はいない。 ・法人にはいるが、看護師の常駐もない。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			<ul style="list-style-type: none"> ・相談員を介して情報はえている。 ・会議を行っている。

24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機会と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	4	・公園で一緒に遊んでいることはある。
27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	6			・年数回開催されていたが、今年度はコロナウイルスの関係もあり実施されず。
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡帳も活用している。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、ペアレントトレーニング等の支援を行っているか		2	4	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2		・契約を結ぶ際に説明をしている。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1		・必要に応じて対応をさせていただいている。

3 2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4		2	・保護者会は実施をしてはいないが、保護者参加型イベントを年に2度行い、保護者同士の交流の場ともなっている。
3 3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		
3 4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			・毎月つばさ通信を刊行している。 ・活動や行事予定については利用希望表と一緒に配布をしている。
3 5	個人情報に十分注意しているか	6			・ケース会議の資料も回収するよう努めている。
3 6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2		・絵カード、写真を活用している。
3 7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5		
3 8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	4		・保護者への周知には至っていない。
3 9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	6			・月の第3金曜日に実施をしているが、その際に利用がない児童、家庭では、避難訓練が実施されていることを知らない家庭もあり、他の曜日にも実

					施を検討する必要性を感じている。
4 0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・法人として取り組んでいただいている。
4 1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・個別支援計画に反映させている。
4 2	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4		・アレルギーの情報はアセスメントで得ているが、医師の指示書までの確認はできていない為、改めて確認をしていく。
4 3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		